

平成24年行政事業レビューシート (内閣府)

<b>事業名</b>	国際防災協力の推進に必要な経費		<b>担当部局</b>	政策統括官(防災担当)		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	事業開始：平成10年度		<b>担当課室</b>	参事官(普及啓発・連携担当)		四日市 正俊	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	28 国際防災協力の推進			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	内閣府設置法		<b>関係する計画、 通知等</b>				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	我が国がこれまで幾多の災害を経験して培った知識・技術を活用し、国連世界防災会議の成果である「兵庫行動枠組」の着実な実施により、国際社会における災害被害を軽減し持続可能な開発に資するため、国連機関等との連携による国際防災協力の推進、アジア防災センターを通じた多国間防災協力の強化及び地域間協力等により、国際防災協力を積極的に推進する。また、東日本大震災の際の国際社会からの多大な支援に報いるため、得られた知見・教訓を国際社会との共有を図る。						
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際防災協力推進に資する国際会議等への出席</li> <li>・我が国を含むアジア各国の合意により1998年に設置されたアジア防災センターを通じたアジア地域における災害対応能力向上に役立つ情報共有、人材育成等の実施</li> <li>・国連国際防災戦略事務局(UNISDR)を通じた国際機関、地域機関の活動の支援等の実施</li> <li>・アジア各国等及び日中韓の防災協力推進のための国際セミナーの開催</li> </ul>						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算の 状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	166	164	158	135	135
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	166	164	158	135	—
	執行額	158	145	156	—	—	
	執行率(%)	95.2%	88.7%	98.6%	—	—	
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	アジア各国の防災行政実務担当者に対する短期研修者数	成果実績	名	184	231	113	100
		達成度	%	184	231	113	—
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	アジア防災センターホームページアクセス数	成果実績	名	57,906	64,470	58,805	61,000
		達成度	%	—	113%	96%	—
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	アジア防災センターのカントリーレポート更新数	活動実績 (当初見込み)	国	4	7	8	—
					(8)	(8)	8
<b>単位当たり コスト</b>	1,606 (円/アジア防災センターホームページアクセス数)		算出根拠	事業全体のコストを算出することが困難なため、(財)都市防災研究所(アジア防災センター)と契約した「アジア等における国際防災協力の推進業務」の決算額を、当該年度の同センターホームページアクセス数で割ることにより算出したもの。			
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	6	7				
	災害関係調査費	107	107				
	国際防災戦略事務局拠出金	22	22				
計	135	135					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国がこれまで幾多の災害を経験して培った知識・技術を活用し、国際社会における災害被害を軽減し持続可能な開発に資するため、国際防災協力を積極的に推進してきた。また、東日本大震災の際の国際社会からの多大な支援に報いるため、得られた知見・教訓を国際社会との共有を図ることが重要と認識。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札案件については、予定価格の精査を行っており、少額随意契約案件についても、仕様内容について十分に検討する等、適切な執行を図っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	東日本大震災を受け、海外で開催される国際会議への出席、国内での国際会議の開催等、我が国が得た知見・教訓を国際社会との共有を図った。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 外務省国際協力局	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>東日本大震災を受けて得られた知見や教訓、災害に強い強靱な社会の構築に向けた取組を国際社会と共有していく必要があり、我が国政府として国際防災協力の推進を図ることの重要性はより高まっている。</p> <p>予算執行において、上記の「評価」欄のとおり、適切な執行を実施しているところであるが、原則、一般競争入札を採用し、透明性・競争性の確保を図り、少額随意契約については、複数社からの見積もりを徴収する等の取組みを引き続き実施していくことで、今後も効率的な予算執行に努めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0059	平成23年行政事業レビュー	0059

※平成23年度実績を記入

内閣府  
156百万円

国際会議出席等の出張経費、  
災害関係調査費・拠出金の支出

【直接】

A. 個人A(職員) 外6名  
4百万円

国際防災協力推進のための  
国際会議等出席経費

【総合評価入札】

東日本大震災の経験共有を  
通じたアジア各国等の防災  
力強化調査検討業務  
32百万円

B. (株)建設技術研究所  
32百万円

アジア各国等における防災  
力の強化と災害被害の軽減  
に資するため、東日本大震  
災を通じて得られる知見、と  
りわけ地震津波対策に関す  
る分析及びそれを共有する

【拠出金】

国連国際防災戦略事務局へ  
の拠出金  
24百万円

H. 国連国際防災戦略事  
務局(UNISDR)

24百万円

国連防災世界会議の成果評  
価活動経費

【随意契約】

アジア等における国際防災協力の推進業務  
94百万円

C. (財)都市防災研究所  
(アジア防災センター)  
94百万円

防災・災害情報の収集・提供、  
アジア防災会議の開催、アジ  
ア防災センターメンバー国か  
らの研修員受入等の実施経  
費

第11回日韓防災会議の開催業務  
2百万円

D. 民間企業5社  
1.8百万円

日韓防災協力の推進のため  
の第11回日韓防災会議の開  
催に係る経費

(外3者)

E. 個人(通訳者)  
0.2百万円

G. 個人(通訳者)  
0百万円

F. ECD GLOBAL (PVT)  
LTD.  
0百万円

海外出張時の車の借り上げ、会議  
開催のための通訳手配のための  
支払経費

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

注)端数処理のため合計額とは一致しない。

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.個人A(職員)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	外国旅費	2			
計		2	計		0
B.(株)建設技術研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
直接経費	旅費交通費、印刷・製本費、会議開催経費等	18			
直接人件費	技師	3			
その他	一般管理費、消費税	11			
計		32	計		0
C.(財)都市防災研究所(アジア防災センター)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者	55			
借料及び賃料	会議場、会議場機材等借上げ	13			
一般管理費	管理部門にかかる経費	7			
外国旅費	研究者及び招へい者の外国旅費	6			
雑役務費	翻訳料、通訳料等	4			
国内旅費	研究者の国内旅費	2			
賃金	事務補助員の賃金支払い	2			
印刷製本費	報告書、会議のプログラム等の印刷製本	1			
通信運搬費	海外及び国内の郵便料	0			
その他	消費税	4			
計		94	計		0
H.国連国際防災戦略事務局					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	国連国際防災戦略事務局への拠出金	24			
計		24	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A(職員)	外国旅費	2	-	-
2	個人B(職員)	外国旅費	0.7	-	-
3	個人C(職員)	外国旅費	0.5	-	-
4	個人D(職員)	外国旅費	0.3	-	-
5	個人E(職員)	外国旅費	0.3	-	-
6	個人F(職員)	外国旅費	0.3	-	-
7	個人G(職員)	外国旅費	0.2	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	東日本大震災の経験共有を通じたアジア各国等の防災力強化調査検討業務	32	1	99.15%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)都市防災研究所(アジア防災センター)	アジア等における国際防災協力の推進業務	94	随意契約	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヨシダ印刷(株)	第11回日韓防災会議の資料印刷製本	0.9	随意契約	-
2	(株)テナインコミュニケーション	第11回日韓会議に係る通訳・翻訳業務	0.8	随意契約	-
3	(株)だん家	第11回日韓会議レセプション	0.07	随意契約	-
4	昭和観光(株)	第11回日韓会議視察に係るバス借上げ	0.05	随意契約	-
5	(株)ギンレイサービス	第11回日韓会議に係る意見交換会における昼食	0.01	随意契約	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(通訳者)	東内閣府副大臣出張中における通訳業務	0.2	随意契約	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ECD GLOBAL(PVY)LTD.	東副大臣出張中における車輛借上げ	0.01	随意契約	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(通訳者)	内閣府大臣官房審議官出張中における通訳業務	0.07	随意契約	-

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連国際防災戦略事務局	国連防災世界会議の成果である兵庫行動枠組の実施とフォローアップを中心的な役割を担う国連国際防災戦略事務局への拠出金(運営費)	24	-	-